

# 仕 様 書

( 大阪市社会福祉研修・情報センター図書館システム更新業務 )

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会

大阪市社会福祉研修・情報センター

はじめに

本仕様書は、社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会 大阪市社会福祉研修・情報センター(以下、「大阪市社会福祉研修・情報センター」という)において「図書館システム構築」に係わる各種システムの機能、要件等を示すものである。

## 1.目的

現在、図書・資料閲覧室に導入している図書館システム「WebiLis V3」のサポートが2025年12月31日で終了するため、継続的に利用者へサービスを提供するために図書館システムの更新を行うこととする。新システムの構築においては、現行と同じクラウド型(SaaS方式)又はオンプレミス方式とし、貸出・返却・予約処理等のカウンター業務や運用を、効率的かつ円滑に実施可能なシステムとし、使いやすい蔵書検索等のWebサービスを提供する事で利用者サービスの向上を実現する事ができるシステムを導入するものとする。

## 2.業務期間

- ・ 契約締結日から令和8年1月5日まで(但し、新システムの構築は令和7年12月27日までに終えること)
- ・ 運用開始日:令和8年1月5日(予定)
- ・ システム移行期間:令和7年12月22日から令和7年12月27日

## 3.契約期間

- ・ 構築契約:契約締結日から令和7年12月27日とする。
- ・ 運用保守:令和8年1月5日から令和12年3月31日(51か月)とする。

## 4.見積の範囲

### 【構築経費】

- ・ 次期システムの導入、構築作業、稼働支援
- ・ 旧システムからのデータ移行作業
- ・ 業務用PCへの次期システムセットアップ(PCは別途本センターで調達)

### 【運用経費】

- ・ 運用保守契約期間におけるシステム利用料及び運用保守サポート費用

※ 構築経費と運用経費は区別して見積書に計上すること。

## 5.履行場所

大阪市社会福祉研修・情報センター(〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20)

## 6.供給条件

- ・システム開発元は図書館システムに関わる以下の品質管理体制及び次に掲げるいずれかの資格を有していること。
    - ※資格については、それを証明する書類を入札時に提出すること。提出が認められない場合は失格とする。
      - 情報セキュリティを正しくマネジメントできることを認定する資格 (ISO/IEC27001)
        - 〈登録範囲:パッケージソフトウェア製品の設計、製造、提供、適用および運用・保守〉
      - IT サービスマネジメントに関する国際規格 (ISO/IEC20000)
        - 〈登録範囲:パッケージソフトウェア製品の運用・保守〉
      - 個人情報情報を正しく取り扱っていることを認定する資格 (プライバシーマーク)
      - 品質マネジメントが正しく行われていることを認定する資格 (ISO9001)
        - 〈登録範囲:パッケージソフトウェア製品の設計、製造、提供、適用及び運用・保守〉
  - ・図書館システム導入時に不具合が発見されたときには速やかに対応すること。
  - ・図書館システムの導入については、指定のデータが全て移行されること。
  - ・図書館システムの形態はクラウド型 (SaaS 方式) 又はオンプレミス方式により提供されるものとする。
  - ・本仕様書で要求する機能要件を満たすこと。
  - ・短納期で高品質のシステム構築のため、担当 SE は提案システムの開発元又はパートナー企業内とすること。
  - ・その他、供給に関する不明な事項については、すべて当センターの指示を仰ぐこと。
  - ・本稼働後に仕様を満たさない点が発見された場合は、責任を持って実現させること。
- ※瑕疵担保期間は稼働日から一年間とする。

## 7.データ移行

現行システムにて運用中の各種データを新システムへ移行すること。

- ・現行システム: WebiLis V3 メーカー: 富士通
- ・受託業者はシステム稼働までに、現行システムで使用している書誌データ、所蔵データ、利用者データ (パスワード含む)、貸出データ、予約データ、発注データ、統計情報データなど関連データ類は全て移行を行い、現行システム同様、新システムでの完全な使用を保証すること。
- ・各データの提供は、現行システム事業者から CSV 形式で提供し、事前にサンプルデータを提供する。なお、本受け渡し方法以外で最適な方法が受託業者より提示され、現行システム事業者より承諾があった場合には了承するものとする。
  - 見積作成時に、サンプルデータが必要な場合は、現行システム事業者から取得すること。
- ・移行に伴うデータ劣化の発生は、受注者の責任で修復すること。

- ・既存環境からデータ移行の方法については、情報流出等セキュリティを勘案し万全を期したものであること。
- ・移行するデータは利用者の個人情報を含み、当センターにて作成した貴重なデータもあるため、不備や不整合があってはならない。移行後、不備や不整合が発生した場合は、受託事業者の責任において、修正・回復を行うこと。
- ・データ移行はテスト移行と、本番移行の2度行い、それぞれ当センターに報告を行うこと。
- ・データ移行時の機密性、安全性を考慮し、既存システムのデータ抽出作業は現行システム事業者により実施するものとするため、同費用 1,500,000 円(税抜)を本調達の見積金額に含めること。その他、データ抽出、変換、移行等データ移行に掛かる全ての費用は本調達の受託事業者が負担することとし、入札金額に含めること。データ移行に係る具体的な事項については、下記の既存事業者を確認すること。

<既存事業者問合せ先>

富士通 Japan 株式会社

関西・中部公共ビジネス統括部 門永

TEL:06-6920-5600

- ・現在クラウド上で運営しているサーバから独自にデータ抽出を行う提案については保守責任・コンプライアンスの観点から認めない。データの受け渡し、形式等については落札後に現行システム事業者と打ち合わせをすること。
- ・データ作成に関して、第三者へのデータ提供や再委託は禁止とする。但し、事前に書面等により大阪市社会福祉研修・情報センターの許可を得た場合はその限りではない。
- ・データ移行に伴う職員側の負担は、最小限に抑える支援を実施すること。
- ・本稼働3週間前には、タッチアンドトライ形式で大阪市社会福祉研修・情報センター職員が提案システムを実機で確認できる環境を用意すること。また、その間に生じた操作方法やシステムに関する疑問点や不明点に対しては、誠意をもって対応すること。
- ・移行作業において、提供した業務上の情報を第三者に開示、又は漏洩しないこと。そのために必要な措置を講ずること。

## 8.セキュリティ管理

### (1)セキュリティ管理の基本的な考え方

本システムは個人情報を取り扱うことになり、より高いレベルのセキュリティ対策が必要である為、大阪市個人情報保護制度および情報セキュリティ規則に十分に配慮したシステムを構築すること。

### (2)求められるセキュリティ対策

#### ・システムの運用

データの管理・保管は、万全の備えをすること。停電・災害・機器トラブル時における復

旧体制を整え、バックアップ対策およびデータの損失・破壊の予防策を行うこと。

・データ通信の暗号化

職員がシステムを使用する際の通信、またはリモートアクセスなど社外からの通信が発生する際は、VPN、HTTPS、TLS 通信等の適切な暗号化を施すこと。これにより、万が一通信が傍受された場合でも安全を確保すること。システムやネットワークの構成に応じて、内部通信についてもセキュリティを確保する対策を講じること。

・パスワードによるアクセス制限

業務端末からシステムを利用する際、パスワード認証を必要とする。またシステムにおいては ID ごとに操作できる機能・権限を設定可能とする。

利用者が Web 予約等のサービスを受ける場合にも、パスワードによる認証を実施する。

・個人情報アクセスログ

システムの個人情報領域へのアクセスについてはログ履歴を蓄積すること。またそのログについては万が一のトラブル発生時には職員自身が迅速に検索・出力を行い、確認できる仕組みを用意すること。例) 職員 ID、アクセス日時等

## 9.教育

- ・次期システムの操作研修の実施
- ・本稼働に先立つ練習環境の提供
- ・操作マニュアル作成

図書館職員向け操作マニュアルを提出すること。内容については、当センターと協議すること。

## 10.保証・保守

以下の運用支援、保守サポートを提供すること。

- ・システムが常に安定稼働するように保守を行なうこと。
- ・障害が生じた際の本調達範囲の復旧を行うこと。
- ・図書館システムの操作・機能・設定等の問い合わせに対する対応を行うこと。
- ・システム運用上の課題及び不具合については迅速な対応を実施すること。
- ・保守内容(運用支援内容)では課題管理表を管理すること。
- ・システム利用や脆弱性対応等の相談に速やかに回答すること。
- ・保守サポートは、導入するパッケージを十分把握し、他図書館での導入実績を有している者(SE)が担当すること。
- ・サポートセンターにて、問い合わせを受け付けること。図書館の開館時間に合わせて対応を受け付けていること。
- ・本契約にて受注者が納品した製品の保守サポートに関する対応窓口が一本化されて

いること。

- ・ 電話、又はメールによる問い合わせサポートの体制が整っていること。
- ・ 図書館システムのアプリケーションソフトのリビジョンアップ版は保守内で提供及び適応作業を行なうこと。最新バージョンがリリースされた際には、協議の上、保守内でバージョンアップ版の提供および適用作業を行なうこと。
- ・ ソフトウェアの導入とチューニング及びそれらの修正・保守は、システム開発元が提供すること。また、それらの作業に当たっては、図書館の日常業務に影響を与えないこと。
- ・ 図書館システムの改定があった場合は、改定された部分のマニュアルを提出すること。
- ・ バージョンアップ対応や改修プログラムの開発をすべて自社またはグループ企業内で行っており、情報提供が行なわれる体制であること。
- ・ システム構築を担当した開発元 SE が保守も継続して実施する体制であること。

#### 11.特記事項

今回の新システムは、管理・運営の負荷軽減と品質向上を目的としている。

図書館システム内には当センターの個人情報格納されているため、受注者は個人情報保護条例の遵守と、高度なセキュリティマネジメントが求められる。この為、受注者は以下の要件を満たすこと。

- ・ プライバシーマーク(個人情報について適切な保護措置を講ずる体制の整備)又は ISMS 認証を有すること。また、一時停止期間等の除外期間がないこと。
- ・ 原則として、セキュリティ管理上、導入構築作業と稼働後の運用サポート業務については契約事業者から第三者委託を禁止する。但し、書面にて当センターの承諾を受けた場合、パッケージカスタマイズ等を開発元へ委託する場合はこの限りではない。

仕様についてはこのとおりとするが、これによりがたい場合は、別途協議するものとする。

#### 12.守秘義務

- ・ 仕様書に基づくすべての作業において、提供した業務上の情報を第三者に開示し、又は漏洩しないこと。また、そのために必要な措置を行うこと。
- ・ 提供する資料は、原則として貸出し、納入期限までに返却すること。また、当該資料の複写および第三者への提供はしないこと。提供した情報を第三者に開示することが必要である場合は、事前に協議のうえ、承認を得ること。

#### 13.その他

- ・ 契約の履行にあたり、本会規程並びに大阪市暴力団排除措置要綱を遵守するものとする。

## 図書館システム要件

次期システムの仕様を以下に示す。

### 1. 新システムの基本要件

- (1) 本システムには、基本的な図書館業務機能が備わったパッケージソフトを採用すること。また、国内で稼働実績があること。
- (2) 基本データベースソフトウェアは多言語(UTF-8)を扱えること。
- (3) データベースに定期的なメンテナンスを行わなくても、レスポンスの低下が発生しないこと。
- (4) 複数端末からのアクセスを同時に行っても、パフォーマンスの低下が少ないこと。
- (5) 自動バックアップを行い、複数(最低3世代)の世代管理を行うこと。

### 2. システム構成

#### (1) 機器構成

本システムを構成するハードウェアは以下の通りとする。

なお、既存のハードウェア機器(ディスプレイ)は継続利用する為、本調達には含まない。

機 器 等	数 量	ス ペ ッ ク
業務用端末(ノート型)	2式	OS:Windows11 メモリ:8GB 以上 CPU: Intel Core i-5 以上
館内 OPAC(デスクトップ型)	1式	OS:Windows11 メモリ:8GB 以上 CPU: Intel Core i-5 以上

#### (2) ソフトウェア

上記機器で次期システムを運用するのに足るライセンス数を提供すること

#### (3) ネットワーク

本センターで契約している既存のインターネット回線を用いること。

提案システムで別途追加の回線契約が必要な場合は、見積価格に含めること。

### 3. システムの機能要件

本システムが対象とする業務は、以下のとおりである。各業務の機能については、「別紙 1\_図書館情報システム機能要件」のとおりである。

- ◆ 窓口業務 … 貸出、返却、予約、督促など
- ◆ 利用者管理 … 利用者登録、修正、除籍
- ◆ 資料検索 … 資料の検索
- ◆ 目録業務 … 書誌の登録、修正、原簿作成、除籍など
- ◆ 統計処理 … 利用統計や貸出統計など

- ◆蔵書点検 …蔵書点検
- ◆WEB関係業務 …インターネットを通じた書誌検索や予約サービスができること  
スマートフォン専用の Web 検索画面を用意すること

#### 4.連絡先

大阪市社会福祉研修・情報センター 企画研修担当 廣瀬(Tel)06-4392-8201  
kensyu@shakyo-osaka.jp